

前期日程問題

平成12年度医学科入学試験問題

数 学

(注意事項)

- 1 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 2 **解答用紙に受験番号と氏名を必ず記入すること。**
- 3 この問題冊子の本文は、5ページからなっている。落丁、乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて監督者に知らせること。
- 4 この問題冊子の計算用紙と余白は、適宜下書きに使用してもよい。
- 5 解答は、すべて別紙「解答用紙」の指定された場所に記入すること。
- 6 この問題冊子は持ち帰ること。

1 a, b は定数で, $0 < a < b$ とする.

定数 $t > a$ に対して,

xy 平面上の曲線 $y = (-1)(x + b)(x + a)(x - a)(x - t)$ と x 軸とで囲まれてできる 3 つの領域の左端の面積を $L(t)$ とし, 右端の部分の面積を $R(t)$ とする.

このとき,

(1) $t = b$ のとき, $L(t) = R(t)$ であることを示せ.

(2) $L(t) = R(t)$ となる $t (t > a)$ を求めよ.

2 n を正の整数とすると、 x を未知数とする次の方程式を考える。

$$n^2 ix^2 - 2\sqrt{2n}(1+i)i^n x + 3(-1)^n = 0$$

このとき、

(1) 上の方程式を満たす複素数を 2 つ求めよ。

(2) 上の方程式を満たす 2 つの複素数のうち絶対値の小さい方を z_n とし、和 $\sum_{k=1}^n z_k$ の実部と虚部をそれぞれ u_n と v_n とする。すなわち、

$$\sum_{k=1}^n z_k = u_n + iv_n$$

このとき、極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} u_n$ と $\lim_{n \rightarrow \infty} v_n$ とを、 π と $\log 2$ を用いて表せ。

ただし、次の等式は知られている。

$$\frac{\pi}{4} = 1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \frac{1}{7} + \cdots$$

$$\log 2 = 1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \cdots$$

3 実数を成分にもつ 3 次の正方行列 $A = \begin{bmatrix} a_{11} & a_{12} & a_{13} \\ a_{21} & a_{22} & a_{23} \\ a_{31} & a_{32} & a_{33} \end{bmatrix}$ は次を満たすとする.

(i) すべての i, j について, $a_{ij} = a_{ji}$ である.

(ii) $A^2 = A$

このとき, 次を示せ.

(1) 各 i ($i = 1, 2, 3$) に対して, $0 \leq a_{ii} \leq 1$ が成り立つ.

(2) $i \neq j$ のとき, $|a_{ij}| \leq 1/2$ が成り立つ.

(3) $a_{ii} = 0$ または $a_{ii} = 1$ のとき, 各 j ($j \neq i$) について $a_{ij} = 0$ が成り立つ.

(4) 行列 A が逆行列をもつならば, A は単位行列である.

さらに,

(5) $a_{11} = 1, a_{23} \neq 0$ であるような行列 A の例をあげよ.

4

xyz 座標空間内に、高さ k の直円柱 K がある。その底面の周 C は xy 平面上にあり、円 C の中心は原点 O で、半径は R である。直円柱 K の上底（その周を C' とする。）は、平面 $z = k$ 上にある。3 点 $P(0, R, 0)$, $P'(0, R, k)$, $O'(0, 0, k)$ をとる。

平面 $z = k$ 上において、線分 $O'P'$ 上に点 M をとり、点 M を通り直線 $O'P'$ に垂直な直線と円 C' との交点を L, N とする。さらに、 $\alpha = \angle MO'L$, $\beta = \angle MPO$ とする。

このとき、3 点 P, L, N を通る平面によって直円柱 K を切断することのできる 2 つの部分の小さい方の体積 V は、次で与えられることを示せ。

$$V = R^3 \tan \beta \left(\sin \alpha - \frac{1}{3} \sin^3 \alpha - \alpha \cos \alpha \right)$$

【要図版】

5

xyz 座標空間内に、高さ h の直円柱 H がある。その底面の周 C は xy 平面上にあり、円 C の中心は原点 O で、その半径は R である。直円柱 H の上底は平面 $z = h$ 上にある。 xy 平面上の円 C に外接する正 n 角形 ($n = 3, 4, 5, \dots$) を底面とし、点 $A(0, 0, h)$ を頂点とする正 n 角錐を B_n とする。

正 n 角錐 B_n の内部にある直円柱 H の部分の体積 V_n を求めよ。

さらに、 $\lim_{n \rightarrow \infty} V_n$ を求めよ。

(この問 5 を解くにあたって、前問の問 4 の結果を利用してよい。)